

高崎市における若者向けの新型コロナウイルスワクチン接種について

学長：澁谷正史

新型コロナウイルスは世界中で感染が拡大し、大きな社会的問題になっています。日本でも、現在では第5波の状況にあり、医療が逼迫している状況です。本学では新学期が始まりますが、オンライン授業と対面授業の混合で行わなければならない厳しい状況です。

新型コロナウイルス感染を防ぐには、(1) ワクチン接種、(2) 三密を避けるなどの感染対策、(3) 医療の充実、などがあげられています。この中でも非常に重要なのは、ワクチン接種ですが、この度、高崎市において、大学生向け（伊勢崎キャンパスの学生も含み）の集団接種が利用できることとなります。

若者では、高齢者に比べて発熱などの副反応がやや多いことが報告されていますが、ほとんどの例は一過性で、障害を残すことはほとんどありません。一方、新型コロナウイルスに感染した場合には、重度の肺炎など重症化を起しやすく、死亡例も連日報告されています。また、一旦治った後も、味覚障害その他、さまざまな後遺症に悩まされることが知られています。

学生諸君には、これらを十分考慮した上で、是非、積極的にワクチン接種を受けていただきたいと思います。